

各位

2003年4月15日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 鈴木弘治
 コード番号 8233

2003年3月度 高島屋営業報告

主要店舗および広域事業売上高前年増減率

	売上高増減率(%)	入店客数増減率(%)	営業日数増減数
東京店	6.9	2.3	±0日
横浜店	1.3	3.6	±0日
新宿店	1.5	2.7	±0日
関東9店計	2.9	0.3	
大阪店	5.1	0.1	±0日
京都店	3.5	0.5	±0日
関西9店計	5.0	0.9	
全店計	3.8	0.2	
法人事業	1.3		
通信販売事業	8.6		
広域事業(店外)計	4.6		
合計	3.8		

各店の売上高増減率は、店頭ベース。

関東9店=東京、横浜、新宿、玉川、立川、大宮、柏、高崎、港南台

関西9店=大阪、和歌山、京都、洛西、堺、泉北、岡山、岐阜、米子

商品別売上高前年増減率(百貨店協会商品区分)

紳士服・洋品	6.2
婦人服・洋品	7.6
子供服・洋品	4.2
その他の衣料品	5.6
衣料品計	6.8
身の回り品	0.3
家具	10.8
家電	24.7
その他の家庭用品	2.8
家庭用品計	6.7
食料品	1.6
食堂・喫茶	4.6
雑貨	3.3
サービス	32.6
その他	9.0
合計	3.8

概況

百貨店事業	<p>売上高は月前半からの気温の低下等天候不順による春物衣料の売上不振に加え、大阪店等で前年リニューアルオープンの反動もあり苦戦。気温が上昇した月後半にやや回復したものの、全店計では3.8%と前年実績を下回った。</p> <p>店舗別では立川店(+1.6%)が前年実績を上回ったものの、主力大型店をはじめ各店とも軒並み低調な結果に終わった。</p> <p>商品別では婦人雑貨(+0.2%)、特選衣料雑貨(+1.0%)が引き続き堅調な動きをみせたが、一方、主力の婦人服(8.7%)、紳士服(6.9%)は苦戦、紳士雑貨(4.7%)、子供服・ベビー(3.8%)、リビング用品(2.8%)、食料品(0.8%)等も前年実績を下回った。</p>
広域事業	<p>法人事業は物件規模の縮小により、また、通信販売事業は衣料品が比較的堅調に推移したものの、主力の食料品や家庭用品関連が不振で前年実績を下回った。</p>

以上